

## 1.1. 調査概要

### 1. 調査団による説明

在ブラジルおよび在アルゼンティンのJICA事務所、在外公館、日系団体等で、以下の説明を行なった。

#### (1) 日系研修業務実施についての留意点(10～12頁)

このメモにもとづいて説明して、理解と協力をお願いした。

#### (2) 今年度の応募・受入状況(13～15頁-平成13年3月末の数字)

各事務所の応募と受入状況を説明した。

#### (3) 13年度の募集

『平成13年度日系研修員募集要項』と日・西・ポ語の3か国語で書かれた募集パンフレットをもとに説明した。

なお、3か国語併記パンフレットは、先年の調査団が、現地からの強い要望にこたえて、予算化し作成したものである。(添付省略)

#### (4) 研修機関リスト

受入先を選定する際の参考に、過去受け入れた研修分野と研修先のリストを手渡した。(添付省略)

## 日系研修業務実施についての留意点

### 1. 研修希望内容をはっきりと

全応募者は、応募書類の「研修申請書」に、研修希望内容や希望到達度他を、正確に、かつ具体的に書いてほしい。

さらに、研究交流型と保母・幼児教育を除く、個別研修の応募者は、JICAが研修機関と研修内容を話し合う際に「研修計画書」も必要となるので、きちんと書いてほしい。

### 2. 研修機関の事前内諾

個別研修応募者には、インターネットなどを利用して、自分で研修機関を見つけてもらいたい。さらに、研修機関の内諾を取りつけて内諾書（様式自由）を添付してほしい。

特に、長期と短期の研究者と研究交流型研修の場合、専門性と研修レベルが高く、研修希望内容と研修機関のマッチングが大変重要で、研修先の内諾を取ることが肝要である。

### 3. 内諾済み応募者

事務所は、内諾がある応募者の優先順位を、なんらかの理由で低くすることがある。その辺りの事情を知らない海外移住センターでは、事務所の優先順位を尊重して、高い優先候補者から受入を検討するが、高い優先者に受入先が見つからなかった場合は、結果的にその国は受入1名減となり、同時に、内諾のある候補者も研修の機会を失う結果になる可能性がある。

については、内諾済みの応募者の優先順位は、なるべく配慮願いたい。

### 4. 研修辞退

面接時等において、合格通知の後で辞退しないように伝えてもらいたい。  
平成11年度に、国立大学での受入れが決定し、研修経費の支払いが終わった

後で、辞退を伝えて来たケースが、3件あった。

最終的に、支払済み経費の返金は不可能であった。

平成12、13年度においても、経費の問題は伴わなかったが、受入決定後の辞退が各数件あった。

説明が困難な理由による辞退は、先方の諒解が得るのも難しく、せっかく築いたJICAと日系研修に係る信頼・協力関係を失うことにも繋がるので、十分に注意願いたい。

## 5. 日本語プレイスメント・テスト

まず、プレイスメント・テストを、正當に実施するように留意いただきたい。

さらに、テスト結果は、来日後に日本語補完研修を受けるか否かを定めるためであり、合否を決定づけるためではないので、応募者がいたずらに憂慮しないように、その旨を事前に説明してやっていただきたい。

なお、日本語の必要度は、英語で研修を行ない日本語ができなくとも問題ない場合と、日本語ができないと研修ができない場合とがあり、研修機関によって、大きく異なる。

また、研修が英語で行なわれる場合でも、日系研修では研修監理員がつかないことと、円滑な生活を送るためには、最低限の日本語知識は必要なので、日本語学習は奨めていただきたい。

## 6. 健康状態(精神面)の把握

先年の調査団の聞き取りを通して、国によって健康診断費用が大変高い状況が理解された。それ以降、診断書の送付は、応募時でなく仮合格通知を受けたあとでも良いとしている。

日系団体代表者から大きな期待を受けて来日し、来日後、その期待に応えられないことを恐れて悩んだり、また、日本での慣れない生活でストレスを溜めたり、受入先とのコミュニケーションがうまく行かないで悩む研修員がいる。さらに、悩みが高じて精神的に参ってしまうことも起きる。

日系研修では、気楽に相談できる研修監理員がないせいもあり、悩みや不満などが溜まりやすく、肉体的だけでなく、精神的にもしっかきしていないと、研修を順調に受けることがむずかしい一面がある。

については、健康診断書により身体的な健康状態は把握できるが、精神面のチェックはなく、事務所での面接を通して知り得ることが、唯一の判断材料であるので、適性や印象を推薦書類に書いていただきたい。

## 7. 研修に対する熱意や態度

JICA研修員用に、特別な研修施設が存在しているわけではなく、世間の通常の仕事場や職場である、大学、病院、研究所などで、極めて多忙な方々をお願いして、研修が行なわれる。したがって、残念ながら、常に研修を指導してくれる先生がいるとは限らない。そうした状況で重要なのは、研修に対する熱意や向上心を、どれだけ持っているかという点である。

その意味からも、日本へ行くことが目的だったり、研修についてはっきりとした考えを持たない者などを見極めた上で、推薦は慎重に行なっていただきたい。

## 8. 来日前オリエンテーション

日系研修員に対する扱いは、基本的に一般技術研修員と同じであるが、特に、つぎの点を、来日前の事務所でのオリエンテーションで、徹底願いたい。

- \* 宿泊場所は、JICAセンターあるいはJICAが指定する宿舎
- \* 下宿は認めない
- \* 家族同伴は不可
- \* 滞在期間の延長は認めない
- \* 研修終了後、JICAが指定する経路ですみやかに帰国する

平成12年度日系研修員  
(1) 応募人数

JICA 海外移住センター

平成13年3月30日 確定版)

研修種類	概要		事務所別内訳												
	定員	応募者数	ブラジル	サパカ	ペレーン	アララ	アルゼンティン	パラグアイ	ボリビア	ペルー	ウルグアイ	コロンビア	グアテマラ	メキシコ	
集団	49	53	7	22	1	30	5	2	1	6		4	1	4	
個別	長期技術研修	51	83	5	43	4	52	7	5	7	2		3	1	6
	短期技術研修	47	58	9	29	1	39	13	2	1	3				
合計	147	194	21	94	6	121	25	9	9	11		7	2	10	
%			10.8	48.5	3.1	62.4	12.9	4.6	4.6	5.7		3.6	1.0	5.2	

(2) 新規受入

研修種類	概要		事務所別内訳												
	定員	受入者数	ブラジル	サパカ	ペレーン	アララ	アルゼンティン	パラグアイ	ボリビア	ペルー	ウルグアイ	コロンビア	グアテマラ	メキシコ	
集団	49	48	6	22	1	29	5	2	1	6		2	1	2	
個別	長期技術研修	51	53	3	27	2	32	5	5	6	1		2		2
	短期技術研修	47	54	6	29	1	36	12	2	1	3				
合計	147	155	15	78	4	97	22	9	8	10		4	1	4	
%			9.7	50.3	2.6	62.6	14.2	5.8	5.2	6.5		2.6	0.6	2.6	

平成12年度日系研修員  
(1) 応募人数

JICA 海外移住センター

平成13年3月30日 確定版

研修種類	概要		事務所別内訳												
	定員	応募者数	ブラジル	サパカ	ベレーン	アラジール	アルゼンティン	パラグアイ	ボリビア	ペルー	ウルグアイ	コロンビア	グアテマラ	メキシコ	
集団	49	53	7	22	1	30	5	2	1	6		4	1	4	
(1) 日本語教師基	10	11	2	6		8	2			1					
(2) 日本語教師基	10	10		5		5	2	1		1		1			
(3) 日本語教師応	20	19	4	10	1	15	1		1	1		1			
(4) 日本語専修	4	6								3		2		1	
(5) 情報処理	5	7	1	1		2		1					1	3	
個別	長期技術研修	51	83	5	43	4	52	7	5	7	2		3	1	6
	(1) 医学分野	5	5		3		3	1		1					
	(2) 歯学分野	5	2		2		2								
	(3) 保母・幼児	3	3					1		1		1			
	(4) 一般技術	28	61	5	28	4	37	5	3	5	2		2	1	6
	(5) 研究者	10	12		10		10		2						
	短期技術研修	47	58	9	29	1	39	13	2	1	3				
	(1) 医学分野	5	8	1	6		7				1				
	(2) 歯学分野	5	4	1	2		3		1						
	(3) 一般技術	25	30	3	11	1	15	11	1	1	2				
	(4) 研究者	5	9	2	6		8	1							
(5) 研究交流型	5	5		4		4	1								
(6) 第三国専門	2	2	2			2									
合計	147	194	21	94	6	121	25	9	9	11		7	2	10	
		%	10.8	48.5	3.1	62.4	12.9	4.6	4.6	5.7		3.6	1.0	5.2	

( 2 ) 新規受入

研修種類	概要		事務所別内訳												
	定員	受入者数	ブラジル	サンパウロ	ベレーン	アラシ	アラシ	アラシ	アラシ	アラシ	アラシ	アラシ	アラシ	アラシ	
集 団	49	48	6	22	1	29	5	2	1	6		2	1	2	
(1) 日本語教師基	10	11	2	6		8	2			1					
(2) 日本語教師基	10	10		5		5	2	1		1		1			
(3) 日本語教師応	20	19	4	10	1	15	1		1	1		1			
(4) 日本語専修	4	3								3					
(5) 情報処理	5	5		1		1		1					1	2	
個 別	長期技術研修	51	53	3	27	2	32	5	5	6	1		2		2
	(1) 医学分野	5	4		2		2	1		1					
	(2) 歯学分野	5	2		2		2								
	(3) 保母・幼児	3	3					1		1			1		
	(4) 一般技術	28	32	3	13	2	18	3	3	4	1		1		2
	(5) 研究者	10	12		10		10		2						
	短期技術研修	47	54	6	29	1	36	12	2	1	3				
	(1) 医学分野	5	8	1	6		7				1				
	(2) 歯学分野	5	4	1	2		3		1						
	(3) 一般技術	25	26	2	9	1	12	10	1	1	2				
	(4) 研究者	5	9	2	6		8	1							
	(5) 研究交流型	5	5		4		4	1							
(6) 第三国専門	2	2		2		2									
合 計	147	155	15	78	4	97	22	9	8	10		4	1	4	
		%	9.7	50.3	2.6	62.6	14.2	5.8	5.2	6.5		2.6	0.6	2.6	